



精神科医

瀬戸 睿

日本学術会議の任命拒否について

日本学術会議は、敗戦の4年後に政府から独立した国の機関として設立された。目的は「わが国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し、世界の学会と提携して学術の進歩に寄与すること」とされています。会員の任命も政府からされるのではなく、現会員が次の会員を選ぶものとなっています。

今回は、そうして選ばれた会員6名を政府が任命を拒否しました。「任命する側が、拒否できるのは当然だろう」という理屈のようです。任命を拒否された6名は、いつも政府の方針に反対意見を多くいって来た人たちで占められています。それまでは、推薦してきた人たちについてはすべて認めてきたのに、今回は初めて干渉してきたのです。

その直前にも同じようなことをしています。安倍前首相が今年の1月に黒川検事長の定年を半年間延長することを閣議決定したことです。これは、検事長も政府の方針に従う者を選びたかったからです。検事長は政府が任命するのですが、検察官は首相をも疑獄事件とかで起訴できる存在です。政府から任命を受けても、政府から独立して訴える権利を持っています。これを認めれば裁判官も任命拒否権があるから政府の意向に沿わない人を拒否できることになります。だから、任命権がある司法においても実質は独立しているのです。

日本学術会議も任命権は政府にあっても、中身の会議が政府の思い通りにはならないものとして独立してものことです。これを許すようになると、戦前の日本のように司法も、学問も国のいうとおりになる暗黒独裁国家となってしまう。憲法改悪を目指す今の政府、自民党はその道に誘導しようとしています。断じてその道に戻ることが私たちには許すわけにはいきません。阻止しましょう!!



医療法人社団 俊睿会

南埼玉病院

精神科・神経科・心療内科・デイケア

越谷市増森 252 URL <http://www.minamisaitama.com>

☎ 048-965-1151